

～追加席販売決定！～

劇団ONEOR8『グレーのこと』-2021ver-
～茨城県出身の羽田美智子さんのコメントが届きました！～

水戸芸術館では、毎回豪華なゲストが客演して物語の世界を広げてくれる【劇団ONEOR8(ワンオアエイト)】の舞台『グレーのこと』-2021ver-を、来年の2月に上演します。2017年の浅草九劇での初演に引き続き、舞台・映像と活躍する阿知波悟美、劇団青年座からは劇団を代表する俳優、山野史人、そして茨城県常総市出身で映画・テレビと幅広く活躍する羽田美智子が出演します。

当館ACM劇場の主要なラインナップの一つになりつつある劇団ONEOR8の最新作をぜひ多くの皆様にご覧頂きたく、貴媒体にて広くご紹介頂けると幸いです。何卒よろしくお願い申し上げます。

ワンオアエイト
劇団ONEOR8
『グレーのこと』-2021ver-

追加席販売決定

2021年2月4日(木) 18:30 開演

【会場】水戸芸術館ACM劇場

【料金】全席指定/S席2,500円、A席2,000円

【出演】恩田隆一、富田直美、伊藤俊輔、山口森広、関口敦史、
松本亮、長尾純子、山野史人、阿知波悟美、
羽田美智子(茨城県常総市出身)

【あらすじ】

ここは天国でも地獄でもない死後の世界。死者が来世、「何に生まれ変わるべきか」を決める会議室である。死者の生涯はデータ化され、そのファイルを持った評議員が集う。

本日の議題は、とある事件を起こした金子翠(かねこ・みどり)について。翠本人を交え、議論が行われていた…。

※会員先行予約により予定枚数終了となりましたが、舞台形状を見直し追加席の販売が可能になりました。(枚数限定)

※新型コロナウイルス感染症予防のため、座席の間隔をあけて販売します。

(当館の感染予防に対する取り組みは公式サイトに掲載しております)



【金子翠役を演じる、羽田美智子さん(茨城県常総市出身)からのメッセージ】

「3年前の『グレーのこと』。とてつもなく素敵な体験をさせていただいた舞台でした。田村さんの描く天地間に存在するグレーな世界、そして人間のグレーゾーン。演じていて自分の足場が根こそぎ崩れていくような感覚に襲われながらも、なんとも言えない至福感に包まれる、得体の知れない後味。達者な舞台の先輩達とともに過ごした時間は[初体験]の連続でした。

再演ということも[初体験]な私ですが、あれから3年たった私達がどんな風に演じられるのか。

ゼロから始めましょうと仰る田村さんから、また何か知らない私が引き出されてしまう[初体験]が待ってる予感があります。

まだ見ぬグレーの扉を開けた先に何が見えるのか、、、楽しみです。」



【チケット取り扱い】水戸芸術館 (9:30～18:00 / 月曜休館)

[電話] チケット予約センター Tel.029-225-3555

[窓口] エントランスホール内チケットカウンター

[Web] <https://www.arttowermito.or.jp/ticket/>

【主催】公益財団法人水戸市芸術振興財団

企画について: 水戸芸術館演劇部門 高比良 Tel.029-227-8123

掲載について: 同 広報係 川崎 Tel.029-227-8111

〒310-0063 茨城県水戸市五軒町 1-6-8 <https://www.arttowermito.or.jp/>

ワンオアエイト

劇団ONEOR8

『グレーのこと』

-2021ver-

ワンオアエイト 劇団ONEOR8 直訳すると「劇団イチかバチか」。ちょっと人を食った劇団名だけど、この劇団は面白い。思わずワッと笑ってしまうシーンが続く中、いつしか心の奥底にある優しさを炙り出し、熱い涙を流させる。だからいつも目が離せない。水戸に是非きてほしかった劇団の必見の舞台です。

☞2ページ目に続く

(ACM 劇場芸術監督・井上桂の推薦のコトバ)

公演概要



2021年2月4日(木) 18:30開演 水戸芸術館 ACM 劇場

公演に関するお問合せ

□水戸芸術館 ACM 劇場

TEL:029-227-8123

担当:高比良理恵

□水戸芸術館広報係

担当:川崎麻里子

〒310-0063 水戸市五軒町 1-6-8

FAX:029-227-8130

takahira@arttowermito.or.jp HP:090-1267-6328

TEL:029-227-8111

kouhou@arttowermito.or.jp

【劇団 ONEOR8 (ワンオアエイト) とは】

劇団 ONEOR8 は、劇団員に加えて、毎回豪華なキャストが客演して、物語世界を広げてくれる。『グレーのこと』-2021ver-でも、初演に引き続き舞台・映像と活躍するベテラン阿知波悟美、劇団青年座からも劇団を代表する俳優山野史人、そして茨城県常総市出身で映画・テレビと活躍する羽田美智子が出演する。羽田にとって12年ぶりの舞台出演となった本作だったが、「12年ぶりの舞台という羽田美智子だが、そうとは思えぬ存在感は見事だ」、「羽田さんも阿知波さんも存在感が強烈でしたが、それに全然負けないくらい皆さんが濃いキャラですごくお芝居でしたね！ストーリーも演出も巧みで面白かったです」と絶賛されている。

小劇場の枠を超えたキャストで楽しませ、作・演出の田村孝裕ならではの物語と演出で唸らせる劇団 ONEOR8。演劇界でも、「田村が次に何を書くのか」と話題になる中心人物の一人になっています。

ACM 劇場の主要なラインナップの一つになりつつある劇団 ONEOR8 の最新作

『グレーのこと』-2021ver- どうぞお見逃しなく！

(ACM 劇場芸術監督・井上桂の推薦のコトバ)

【劇団の成り立ち】

1997年(平成9年)池袋の舞台芸術学院の仲間と劇団を結成し、

1998年にONEOR8(ワンオアエイト)として『まほろばにて』で旗揚げ。

現在、座付き作家兼演出家の田村孝裕を中心に、恩田隆一、和田ひろこ、野本光一郎、富田直美、伊藤俊輔、山口森広の計7名で構成される劇団。ありふれた日常的空間を舞台に、登場人物の多くは地味でどこか弱さのあるキャラクターで、普段は目を向けられることの少ない者や弱き者を打ち消すことなく、その内面の本質を見つめることを忘れない作風で高い評価を得ている。

時にやさしく、時にあらわに、時にユーモアをもって人間を描写し、切なさややるせなさといった感情を紡ぎ出す会話劇は、その独特で柔らかな空気感で客席を包み込む。現代の人間が持つ“狂気”や“影”といった内面の部分もクローズアップしながら「家族」や「仲間」などの在り方や存在意義を描いている。

【今回の上演に際して劇団からのメッセージ】

作家である田村がその時に感じたもの、時勢、自分の積み重ねた記憶を元に“テーマ”を考え、作品創りに反映してきました。

平成を駆け抜けた20年余り、新しい気持ちと熱を持って令和も劇団としての足跡をしっかりと残したいと思いました。いつの時代でも受け入れやすく、観やすい作品であることから

東京初演時大変好評をいただいた「グレーのこと」を再演いたします。

私たち ONEOR8 は今までたくさんの素敵な客演さんに出演いただきまして、数多くの作品に様々な色を挿してくださり、良い作品を残すことができました。

今企画作品では敢えて初演と同じメンバーを揃え心の通った濃密な稽古と「これぞ ONEOR8」となるような作品を目指します。

本作『グレーのこと』は2017年浅草九劇のこけら落とし公演として初演を迎えた作品です。今まで劇団で行ったことのない演出、脚本だと当時お驚きの声のご好評をいただきました。作家の田村自身も今までとは違う「日常を離れたファンタジーな世界観」に取り組み、それが成果となった作品だと自負しております。近年ニュース等で当たり前のように取り上げられている、SNSによる「ネットで悪者をこぞって叩く」「ネットや社会の正論がはみ出し者を追い詰める」という社会の縮図を連想させる部分が今の時代を写していると考えます。また、ワンシチュエーションに主人公が出ずっぱりの状態なので、観客が各々主人公に深く感情移入し緊張感を体感できる作品になっているため、是非たくさんのお客様に味わってほしいと願います。

【『グレーのこと』 あらすじ】

ここは天国でも地獄でもない死後の世界。
死者が来世、「何に生まれ変わるべきか」を決める会議室である。
死者の生涯はデータ化され、そのファイルを持った評議員が集う。
本日の議題は、とある事件を起こした金子翠（かねこ・みどり）について。
翠本人を交え、議論が行われていた。
死者の多くは人間への輪廻転生を希望するが、翠は頑なに人間を拒否している。
どうやら生前住んでいたアパートの住人たちとの関係にその原因があるらしい。
「彼女のような悪人を、人間に生まれ変わらせるべきではない」
ある評議員の一言がきっかけで、翠の起こした事件が明るみになっていく。
金子翠は善人か、悪人か…
住人らの行為は善意か悪意か…
現世とあの世の狭間にあるグレーな世界で

白黒はつきりしない議論は続いてゆく…

【金子翠 役・羽田美智子さんからのメッセージ】



「3年前の『グレーのこと』。とてつもなく素敵な体験をさせていただいた舞台でした。田村さんの描く天地間に存在するグレーな世界、そして人間のグレイゾーン。演じていて自分の足場が根こそぎ崩れていくような感覚に襲われながらも、なんとも言えない至福感に包まれる、得体の知れない後味。達者な舞台の先輩達とともに過ごした時間は[初体験]の連続でした。

再演ということも[初体験]な私ですが、あれから3年たった私達がどんな風に演じられるのか。

ゼロから始めましょうと仰る田村さんから、また何か知らない私が引き出されてしまう[初体験]が待ってる予感があります。

まだ見ぬグレーの扉を開けた先に何が見えるのか、、、楽しみです。」

はだ・みちこ

1994年、映画『RAMPO』のヒロイン役に抜擢、一躍注目を集める、同年の第18回日本アカデミー賞新人俳優賞、およびエランドール賞新人賞受賞。近年の主な出演作に、ドラマ『特捜9シリーズ』『花嫁のれん』『隕石家族』、舞台『不機嫌な女神たちプラス1』（田村孝裕演出）など多数。旅番組のレポーターとしても活躍。さらに、食材やアロマなど「美」と「健康」をテーマに羽田自身が全国から集めた選りすぐりの商品をネット販売している「羽田甚商店」店主としての顔も合わせ持つ。

【劇団沿革】

「莫逆の犬」2008年	主演：田中直樹（ココリコ）
「騾」2009年	主演：山本裕典
「絶滅のトリ」2010年	主演：柄本佑
「ペノザネオッタ」2011年	主演：矢部太郎（カラテカ）
「そして母はキレイになった」2012年、2016年	主演：高橋恵子
「猿股のゆくえ」2013年	主演：岡本麗
「世界は嘘で出来ている」2014年、2017年	主演：甲本雅裕
「さようならば、いざ」2016年	主演：中村蒼
「グレーのこと」2017年	主演：羽田美智子
「ゼブラ」2018年	出演：矢部太郎（カラテカ）、新垣里沙

*** 「ゼブラ」は、水戸芸術館で2018年に上演され好評を得た**

1998年1月	「まほろばにて。」 旗揚げ @大塚ジェルスホール
1998年7月	「ロンドンと巴里」 @新宿パンプルームス
1999年3月	「陽がまた昇る また陽が暮れる」 @新宿パンプルームス
1999年11月	「ニットキャップマン」 @池袋シアターグリーン
2000年5月	「シケモクと猿股」 @下北沢 OFFOFF シアター
2000年12月	「ひきずる裾、無い袖を振る。」 @新宿パンプルームス
2001年4月	「裸足」 @下北沢「劇」小劇場
2001年7月	「一夏二夏」 @下北沢「劇」小劇場
2001年10月	「秋うらら」 @下北沢駅前劇場
2002年5月	「garden」 @下北沢「劇」小劇場
2002年10月	「ゴールデンアワー」 @下北沢駅前劇場
2003年3月	「春へと。」 @ザ・スズナリ
2003年7月	「鈴とファンファーレ」 @新宿シアタートップス
2004年1月	「最後の恐竜」 @下北沢駅前劇場
2004年5月	「裸足」再演 @新宿シアタートップス
2004年9月	「Turkey」 @三鷹市芸術文化センター
2005年6月	「29」 @新宿シアタートップス
2005年10月	「ゼブラ」 @新宿シアタートップス
2006年3月	「パレード」 @三鷹市芸術文化センター
2006年10月	「電光石火」 @新宿シアタートップス
2007年1月	劇団B面公演「コルトガバメンツ」 @有楽町・イマジスタジオ
2007年11月	「ゼブラ」再演 @新宿シアタートップス
2008年4月	「莫逆の犬」 @新宿シアタートップス 田中直樹（ココリコ）出演
2008年10月	「思い出トランプ」@青山円形劇場 田中麗奈、根岸季衣、山口良一、阿知波悟美
2009年3月	さよならシアタートップス最後の文化祭「バイエル」@新宿シアタートップス
2009年7月	「騾」 @吉祥寺シアター 山本裕典
2009年12月	劇団B面公演「シケモクと猿股」 @池袋シアターグリーン
2010年2月	「ゴールデンアワー」再演 @三鷹市芸術文化センター ほっちゃん。根岸季衣
2010年9月	「絶滅のトリ」 @三軒茶屋シアター ترام 柄本佑 角替和枝
2011年6月	「ペノザネオッタ」 @赤坂レッドシアター 矢部太郎
2012年9月	「そして母はキレイになった」 @赤坂レッドシアター 高橋恵子
2013年8月	「猿股のゆくえ」 @赤坂レッドシアター 岡本麗、モロ師岡
2014年10月	「世界は嘘で出来ている」 甲本雅裕 矢部太郎@下北沢ザ・スズナリ@豊橋芸術劇場 PLAT
2015年4月	劇団B面公演「ゼブラ」@SPACE 雑遊
2016年1月	「そして母はキレイになった」再演 @シアター ترامほか全国11カ所
2016年11月	「さようならば、いざ」中村蒼 @東京芸術劇場@山形市民文化会館@道新ホール
2017年4月	「世界は嘘で出来ている」再演 甲本雅裕 @ザ・スズナリ@大阪一心寺シアター
2017年12月	「グレーのこと」再演 羽田美智子 @浅草九劇
2018年12月	劇団20周年公演「ゼブラ」再演 矢部太郎、新垣里沙@東京芸術劇場ほか全国7カ所
2020年1月	「誕生の日」 @日暮里 d-倉庫
2021年1月	「グレーのこと」再演予定 @下北沢ザスズナリ

「絶滅のトリ」「連結の子」（文学座書き下ろし）は岸田戯曲賞最終候補作品

「世界は嘘で出来ている」は岸田戯曲賞最終候補作品とともに鶴屋南北賞最終候補品

【作・演出 田村孝裕プロフィール】



◎田村孝裕 コメント

「演劇は今、新しい生活様式の中で大きな矛盾に直面しています。三密そのものが演劇である以上、我々のような小劇団には死活問題です。

そんな今だからこそ、矛盾を描いた『グレーのこと』を上演するに至りました。

主人公の金子翠^{かねこみどり}本人ですら判別できない矛盾した気持ち。

何が正解で、何が正しいかもわからない中、彼女は次の道を選択します。その選択をぜひ、劇場や配信で目撃してください。」

TAMURA TAKAHIRO

1976年4月8日生まれ

東京都出身 B型 舞台芸術学院演劇部本科卒業

脚本・演出家

劇団 ONEOR8 公演すべての作品の脚本・演出を担当

その他の舞台

■ 2019年

1月 吉本興業プロデュース「莫逆の犬」脚本・演出 @神保町シアター 板尾創路 矢部太郎

4月～5月 東宝「雪まろげ」再演 脚本・演出 @新歌舞伎座他全国 高畑淳子 榊原郁恵

7月 プリエールプロデュース「カゾクマンⅢ」脚本・演出 @赤坂RED THEATERほか

10月 舞台「サザエさん」@明治座、博多座 主演：藤原紀香

10月 「不機嫌な女神たち」演出 @紀伊国屋ホール 和久井映見。羽田美智子他

■ 2018年

11月 文化座「太陽の棘」演出 @シアターX

■ 2017年

6月 グローブ座「あんちゃん」脚本・演出 北山宏光主演 @グローブ座、森ノ宮ピロティ

7月 プリエールプロデュース「カゾクマンⅡ」脚本・演出 @赤坂RED THEATER山口良一、熊谷真実

10月 東宝「土佐堀川」演出 高畑淳子主演 @シアタークリエほか全国

11月 トムプロジェクト「東おんなに京おんな」再演演出 岡本麗 鶴田真由 @あうるすぽっと

■ 2016年

5月 テアトルエコー60周年公演「淑女はここにいる」脚本・演出 @恵比寿エコー劇場

5～6月 世田谷パブリックシアター公演 「BLACK MARY POPPINS」脚本

@世田谷パブリックシアターほか 中川翔子 一路真輝 ほか

8月 舞台芸術学院ステージアーティスト科8期公演 「ラムネ」脚本・演出

9月～12月 東宝「雪まろげ」脚本・演出@シアタークリエ他全国 高畑淳子 榊原郁恵

■ 2015年

3月 オフィスコットンエプロデュース「漂泊」演出 @吉祥寺シアター

4月 セガ 舞台「龍が如く」脚本・演出 @赤坂ACTシアターほか

6月 東宝「おもろい女」脚本・演出 @シアタークリエほか 藤山直美 渡辺いっけい

9月～12月 東宝「三匹のおっさん」脚本・演出 @明治座ほか 松平健 西郷輝彦 中村梅雀

10月 アルカンパニー「父よ！（再演）」脚本・演出 @東京芸術劇場ほか 平田満 ベンガル

12月 トムプロジェクト「東おんなに京おんな」演出@あうるすぽっとほか 岡本麗 鶴田真由

TV脚本

■ 2011年

大型ドキュメンタリー『開拓者たち』（NHKBSプレミアム）脚本 主演：満島ひかり

■ 2010年

「妻を看取る日～国立がんセンター名誉総長 喪失と再生の日々」（NHK）脚本

映画

■ 2013年

「箱入り息子の恋」共同脚本 星野源 夏帆出演（星野源、第37回日本アカデミー賞新人俳優賞受賞）

■ 2002年

「コンセント」監督・中原俊（サイコドラマシーン 演出・出演）主演：市川実和子

他多数

劇団 ONEOR8 『グレーのこと』-2021ver- 水戸公演概要



ONEOR8 公演 2017年12月初演時 浅草九劇にて ©高橋まゆみ

作・演出：田村孝裕

出演：恩田隆一、富田直美、伊藤俊輔、山口森広、関口敦史、松本亮、長尾純子、
山野史人、阿知波悟美、羽田美智子（茨城県常総市出身）

舞台監督：村岡普 演出部：野本光一郎、石田茜子 舞台美術：稲田美智子 照明：吉川ひろ子

音響：今西工 映像：ワタナベカズキ 音楽：上江冽亮司 ヘアメイク：張替小百合

衣裳：竹内萌恵、富成友子 演出助手：河口高志 宣伝美術：郷史郎 宣伝写真：引地信彦

当日運営：須藤千代子、大槻志保 制作協力：和田ひろこ

企画・制作：ONEOR8

主催：公益財団法人水戸市芸術振興財団

公演日程：2021年2月4日（木）

開演時間：18：30

開場時間：17：50

劇場：水戸芸術館 ACM 劇場

料金：S席 2500円 A席 2000円（全席指定・税込）

チケット取扱い：水戸芸術館（9：30～18：00 月曜休館）

エントランスホール内チケットカウンター

チケット予約センター 電話：029-225-3555

WEB予約 <https://www.arttowermito.or.jp/ticket/>

*チケットは会員先行予約により一般発売日前に予定枚数終了となりましたが、舞台形状を見直し、追加席の販売が決定しました。（枚数限定・発売中）

◎新型コロナウイルス感染症の再拡大など、状況の悪化により内容の変更や公演の中止または延期を余儀なくされる場合もございますので、最新情報は当館ウェブサイトやSNSにてご確認ください。

◎館内ではマスクの着用をおねがいたします。

◎まわりの方とは距離をおとりください。

◎体調がすぐれないお客様はご来場をお控え下さい。

◎手洗いと手指消毒にご協力ください

◎クロークのご利用は当面の間、中止させていただきます。

◎新型コロナウイルス感染症対策のためお座席については、二席連番の席と一席ずつ離れた座席の二種類をご用意しております。

新型コロナウイルス感染症対策
にご協力をお願いします。



お問合せ：

水戸芸術館 ACM 劇場 TEL:029-227-8123（10時～18時 月曜休館）

<https://www.arttowermito.or.jp>